

# 機 器 紹 介

今回の機器は、平成7年度に日本自転車振興協会の補助を受けて設置しました。

## 溶接ロボット <溶接試験室>

溶接品質の安定化と作業能率の向上を図るために、最適使用条件の検討と周辺機器（治具等）の試作研究、技術指導に使用します。

メーカー：松下電器産業㈱

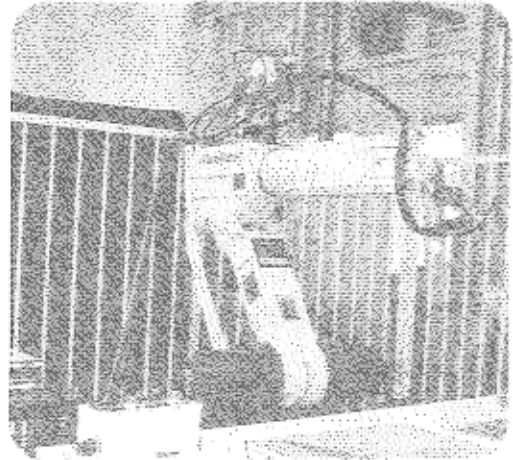
型 式：PanaRobo AW-010A

仕 様：

制御軸数：6軸多関節

教示方式：ティーチングプレイバック

溶接電源：PanaStar HR-350



## 熱分析装置 <第2機器分析室>

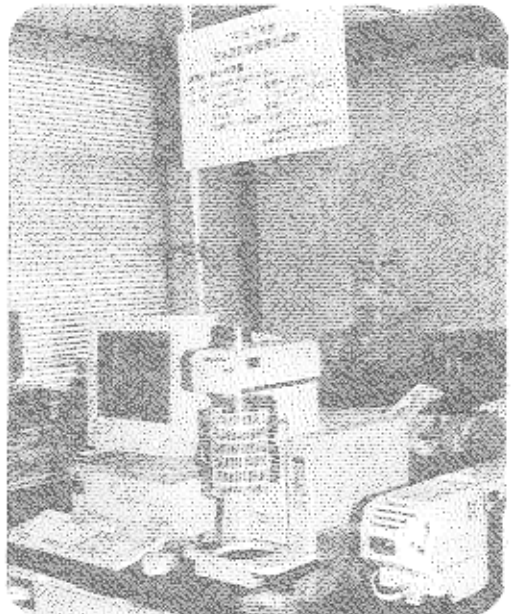
金属材料、セラミックス等の熱膨張特性、高温反応性、熔融温度などの熱特性の解析を行うために使用するもので、金属系材料の熱処理条件や金属・セラミックス複合材料の開発研究等に使用する装置です。

メーカー：理学電機㈱

型 式：ThermoPlus

仕 様：

	測定範囲	昇温速度
TG-DTA	RT~1500℃	100℃/min
DSC	-150~700℃	100℃/min
TMA	RT~1500℃	100℃/min



## 薄膜・微小領域X線回折装置

### <電気化学研究室>

金属、ガラス、セラミック、プラスチック等に形成した金属、金属炭化物、金属窒化物及び金属酸化物等の高機能性薄膜、及び微小領域の定性分析、残留応力測定等を行い、表面改質等の研究・開発に使用します。

メーカー：㈱マック・サイエンス

型 式：MXPI8VA

仕 様：

X線発生最大出力：18kW(20~60kV, 10~450mA)

自動可変スリット

分析可能薄膜厚さ：100Å

分析面積：10, 30, 50, 100μm, 1mm

